

令和2年度実績報告分

「福祉サービス第三者評価」を踏まえたサービス改善計画・実施状況

施設名	和楽ホーム		施設番号	K029
項目	評価結果に基づく現状分析 (令和2年度)	改善計画 (令和2年度末時点)	実施状況(予定を含む) (令和3年4月30日時点)	左記実施状況に実施予定が あった場合の実施状況 (令和3年4月30日時点)
経営層、専門職、事務も含めた全職員が、互いに認め合える職場作りについて	職員自己評価では、働きやすい、職場の雰囲気が良いなどの意見の一方、さまざまな改善期待の声も寄せられている。 施設は、理念・ビジョンの浸透の取り組みや人事考課制度、研修制度の充実、業務負担軽減の取り組みを実施しているが、施設に対する帰属意識や仕事へのモチベーションについては、職員によって温度差があり、施設に対して意見を持っている職員もいる為、互いに認め合える職場作りに向けて、まずは本音で語り合う場を持つことが必要。	組織体制を見直し、更に職員の意見に耳を傾けられる環境づくりを行う。	1 実施済み 2 実施予定(令和4年3月ごろ) 具体的には以下のとおりです。 具体的には、個人やフロア単位の床単位での意見交換の場を持てるような環境づくりを行う。 また、施設側の取り組みに対する理解を深める場を併せて作れるよう見直しを図る。	1 実施済み (年 月) 具体的には以下のとおりです。
人事制度を見直し功績に対して表彰するなど、職員の承認欲求を満たし、やる気やモチベーションを上げる取り組みについて	職責、職務に応じてキャリアパス制度を実施しており、職員は、習得すべき内容の施設内外の研修に参加し、理解が不十分であれば繰り返し学習する仕組みがあることで、職員の納得性を高めているため、職員自己評価は高い一方、意欲向上やチームワークの促進については高くない。 人事考課制度が職員の承認欲求を満たしているか検証し、功績に対して表彰するなど、職員のモチベーションを上げる取り組みが必要。	日頃の業務等に対し、やる気やモチベーションを挙げるシステムづくりを行う。	1 実施済み 2 実施予定(令和3年12月ごろ) 具体的には以下のとおりです。 具体的には、現在導入を予定しているシステムにを活用し、職員一人一人の日頃の取り組みを職員同士で評価できるようにする。	1 実施済み (年 月) 具体的には以下のとおりです。
個別ケアやターミナルケアなどの、専門性の高い支援の取り組み状況や成果を地域に伝え、施設の価値を高めることについて	利用者の意思を尊重して、入居生活を最後まで楽しく過ごしていただく「寄り添う介護」を基本とする介護が行われており、個別ケアや看取り介護などの専門性の高い支援の提供に向けて、職員の能力向上に取り組んでいる。 それらの取り組みを地域に発信することも、福祉資源の地域還元の一つの方法であるため、ホームページなどを活用し、ケアに関する取り組み状況や成果を地域に発信し、施設の価値を高めることが必要。	施設の取り組みを地域の福祉資源の一つとして、ホームページ等を活用し情報発信に努める。	1 実施済み 2 実施予定(令和3年12月ごろ) 具体的には以下のとおりです。 具体的には、施設が運用するホームページ内に施設の取り組み内容を掲載するページを設けると共に、機関紙などで掲載している旨の情報発信をしていく。	1 実施済み (年 月) 具体的には以下のとおりです。

※この様式は、「令和2年度東京都特別養護老人ホーム経営支援補助金交付要綱」の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価(又は利用者に対する調査)の結果は、施設において公表しているほか、「とうきょう福祉ナビゲーション」によりインターネットでも閲覧できます。